

## 地域主体型交通「旭サポートカー」

地域主体型交通は、亀岡市地域公共交通網形成計画に掲げる地域課題「社会情勢の変化に対応した公共交通体系の確保」に対して、自治会等の地域が主体となって高齢者等の交通弱者への対応及び多様な輸送手段の組合せによる地域住民の交通手段の確保する取組みであり、地域を選定するとともに運行を担う団体と協議する中で導入を促進しています。

亀岡市旭町では、路線バスの運行がない時間帯が約3時間あることから地域の高齢者等の生活移動を支援するため、令和3年7月6日（火）から自治会による地域乗合自動車（旭サポートカー）を運行されました。ボランティア送迎（道路運送法の許可・登録を要しないもの）の試験運行として開始し、収支の見込みや課題抽出を行い、持続可能な運行とするため自家用旅客有償運送の運行に向けて検討されます。

### 1. 実施・運行主体

亀岡市旭町自治会

### 2. 利用者・運転手（登録制）

利用者登録者：21名

・免許返納者 ・80歳以上 ・その他特別な事情のある方

運転手登録者：8名

### 3. 運行日

毎週火曜日の週1回1往復

（山階・印地各区は第1・3火曜日、杉・美濃田地区は第2・4火曜日）

### 4. 運行車両

4台（利用者数により運行台数を調整）

自治会隣の「デイサービスセンターさくら」の自家用車2台借上げ（軽自動車）

運転手の自家用車2台（軽自動車）

### 5. 予約方法、運行経路

運行日の前週の水曜日までに自治会に電話予約を行い、自宅近隣から目的地まで

・JR千代川駅 ・八木方面の通院 ・千代川方面の買い物

### 6. 利用料

当面の間、無料（ボランティア送迎のため、運転手への報酬も無償）

# 80歳以上の乗合車 試験運行

## 買い物や通院時送迎

公共交通機関に乏しい亀岡市旭町で、80歳以上の住民を対象とした乗合自動車「旭サポートカー」の試験運行が始まった。買い物や通院時の送迎を運転手がボランティアで担い、地域一体となって高齢者の移動を助ける。



「旭サポートカー」を利用して買い物をする高齢者  
(亀岡市千代川町)

とボランティアの自家用車計4台を活用して事業を行う。現在21人の利用者と8人の運転手が登録しており、当面利用料と報酬は無料。

初日の6日には旭コミュニティセンターで出発式があり、藤原庸右自治会長が「利用者の声を聞き、長く継続する事業になればと思う」とあいさつ。運転手は利用者2人を乗せて15分ほど車を走らせ、千代川町のスーパーに向かった。藤原弓子さん(81)は「なかなか買い物に来れないのでありがたい」と喜んでいました。

将来的には有償での送迎を見込んでおり、試験運行を通して収支や走行ルートなどの検討課題をまとめる。

市の北東部に位置する同町はJR沿線から遠く、平日の日中では路線バスのダイヤは最大4時間の間隔が空く。運転免許証を返納するなどして外出に不自由がある高齢者の不安を解消しようと、同町自治会が事業を始めることにした。サポートカーは毎週火曜の午前中に運行する。利用者が事前に自治会に電話して予約する仕組みで、町内のデイサービスセンターが提供する車両

(上田真里奈)